

令和3年度 幼児教育推進リーダーフォローアップ研修等の様子

【第1回推進リーダーフォローアップ研修会（開講式）】

○日時：令和3年5月17日（月）

会場：富山県民会館

○概要

- (1) アドバイザー、推進リーダー委嘱交付
- (2) 研修「教育要領・保育指針等の理解を実践につなぐ」
幼児教育スーパーバイザー 青山 仁
- (3) 説明・連絡 幼児教育施設訪問研修について



はじめに、幼児教育センター長から、アドバイザー・推進リーダーへ、委嘱状を交付した。その後の青山スーパーバイザーより、写真による具体的な子どもの姿から、遊びを通した学びの大切さについての講義を行った。

○受講者の声

- ・「幼児教育の大切さ」「幼児教育の基本」を再認識する機会となった。教育要領、保育指針に示されたことを理解し、実践につなげていくことの大切さを感じた。
- ・0～2歳の時期の子どもへの関わり大切さを改めて認識できた。
- ・自園でも園内研修を行い、(本日の研修の)共通理解をし、自身の資質向上につなげていきたい。
- ・「充実した遊び」を子どもたちの姿で捉えたいと考えた。



【第2回推進リーダーフォローアップ研修会（アドバイスの実際）】

○日時：11月1日(月)（呉東地区）、11月8日(月)（呉西地区）

開催方法：オンラインによる開催

○概要

- 研修1** 子どもの姿や保育者の援助を踏まえたアドバイスの実際について
- ・アドバイザーの訪問研修の事例発表
 - ・アドバイザーの事例をもとにアドバイスについてのグループ協議
- 研修2** アドバイザーと推進リーダーの分科会
- ・推進リーダーの訪問研修の事例による研修
 - ・不安や悩み、学びとなったこと等の情報交換

オンラインでの研修で、前半はアドバイザーの訪問研修の事例発表を聞いた後、ワールドカフェ方式で各アドバイザーとグループでの協議を行った。後半は分科会として、リーダーの不安や悩み、学びとなったこと等を出し合い、思いを共有する機会とした。

○受講者の声

- ・訪問研修では、保育者の主体性を大切に、保育者自身の気づきを引き出すことが大切だと分かった。園・所のよいところを認め、先生方の悩みについて一緒に考えたい。
- ・自園も保育方針に「主体的に」と入れているが、その言葉の意味を考える機会になった。自園の園内研修でも、職員それぞれが、「主体性」について、話し合う機会をもちたいと思った。

【訪問研修参加後の幼児教育推進リーダーの報告書より】

◆A園の訪問研修より◆

子ども一人一人が主体的に遊び、その遊びが継続していた。年少児も、年上児が展開している遊びの中で、したいことができる環境があり、異年齢児保育のよさを感じられた。廊下にも環境を構成することで、遊びの継続や発展につながっていた。

研修会では、保育者が子どもの言動や気づきを互いに伝えあい、課題を皆で協議し、保育を語り合っていた。その語り合いの中に、訪問した私たちも入って、話し合えたのがよかった。

.....

◆B園の訪問研修より◆

子どもたちがやりたいと始めた、ハロウィンの制作コーナー、ジャングルジムと雲梯のお化け屋敷、砂遊びや鬼ごっこ等で、十分に楽しんでた。A児はジャングルジムのお化け屋敷に大きな棒つきキャンディーを紐で付けようとするが、なかなかできない。諦めずに何度も何度も挑戦する。A児が納得するまで見守り、待ち、できた時には共に喜ぶという保育者の援助が素晴らしかった。

遊びは、子どもの興味、関心、好奇心がスタートである。子どもが主体的に繰り返し遊んでいけば遊びは広がり、友達との関わりも出てくる。そのような主体的な遊びの中では、子どもが考えたり試行錯誤したりする様子を見取りながら見守り、待つことの大切さを再確認した。

.....

◆C園の訪問研修より◆

子どもたちはペアを作って様々な運動遊びを楽しんでいた。特別な支援を要する子ども（外国籍の子どもも含む）も多いが、子ども同士で優しく教え合う姿が見られた。保育者は、特別な支援を要する子どもに丁寧に関わっていた。子どもの主体性を引き出すためには、どこまで、どのような援助をしたらよいのか考えさせられた。

研修会では、保護者とのコミュニケーションや異文化の理解等が重要だということを知った。子どもは国の違いなくかわいいし、成長していく可能性にあふれているものだという事を感じた。

.....

◆D園の訪問研修より◆

おばけやしきをテーマにした活動では、「おばけやしき」「迷路」「クイズ」等、子どもたちのしたい遊びを上手に取り込んだ活動になっており、どの子も満足そうな表情で活動していた。

研修会では「一人一人の思いに共感し、認めてあげたい」「どの子にも発言（表現）のチャンスを与えたい」等、子どもを思う保育者の温かい気持ちを感じられた。保育者の意見を受け止めるようにしたことで、意見も出やすくなる。園や保育者の課題に寄り添うことの大切さを学んだ。訪問園の保育方針や研修テーマを把握し、園の保育のよさを適切に伝え、子どもの育ちにつながる訪問研修にしたいと思った。